

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する研究計画書概要及び公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：2023年3月24日
研究課題名：脳定位照射における線量分布の検討
研究期間：倫理審査承認後～西暦 2025年3月
研究対象：2017年以降に脳転移の治療目的にサイバーナイフに紹介した症例
対象材料： <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（治療計画線量分布 ） 上記材料の対象期間 西暦 2017年3月～2025年3月
意義・目的： 癌の経過において脳転移は一定の確率で生じます。以前は脳転移が生じると全脳照射が一般的でしたが、近年では定位照射により局所治療を行うことが増えてきました。 サイバーナイフは、線量集中性の高さから通常のリニアックでは難しい脳転移でも定位照射ができる可能性が高いと考えられており、当院からも積極的に紹介してきました。 今回当院に新しいリニアックが導入されるにあたり、脳転移の定位照射に特化したソフトが入ります。これまでサイバーナイフに紹介した患者さんの線量分布を新機器で再計算させて比較することにより、どの程度の大きさ・個数の転移まで当院の新しい機器でサイバーナイフと同等の治療ができるのか、比較検討することにより、より適切な脳転移の治療が可能になると考えています。
方法： 本研究は後ろ向き観察研究です。患者さんに対する侵襲は一切ありません。当院からサイバーナイフに紹介した患者さんの線量分布を当院の治療機器で再計算させ比較検討を行うことにより、治療機器のモダリティによる優位性、適正を検討します。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 放射線治療科 大城佳子（代表番号 029-851-3511）